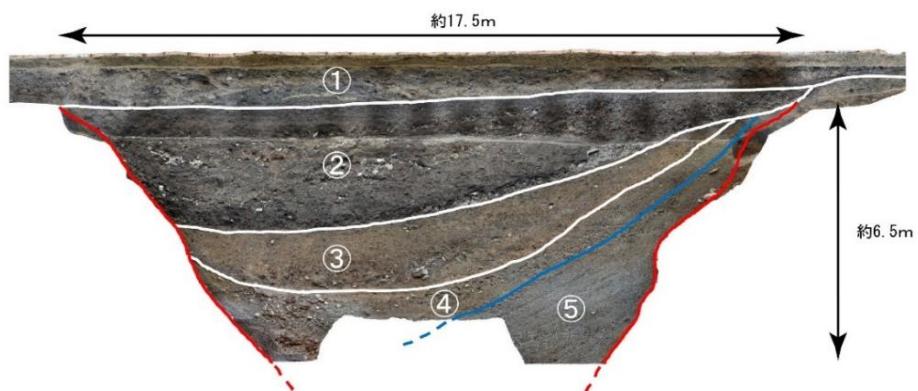


調査区①の調査成果



堀平面写真（右が北）



C 堀断面写真（西壁）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 福祉会館建設に伴う整地 | ④ 明治から昭和期（古）の埋土 |
| ② 昭和期（戦後）の埋土 | ⑤ 廃城後の埋土 |
| ③ 明治から昭和期（新）の埋土 | |



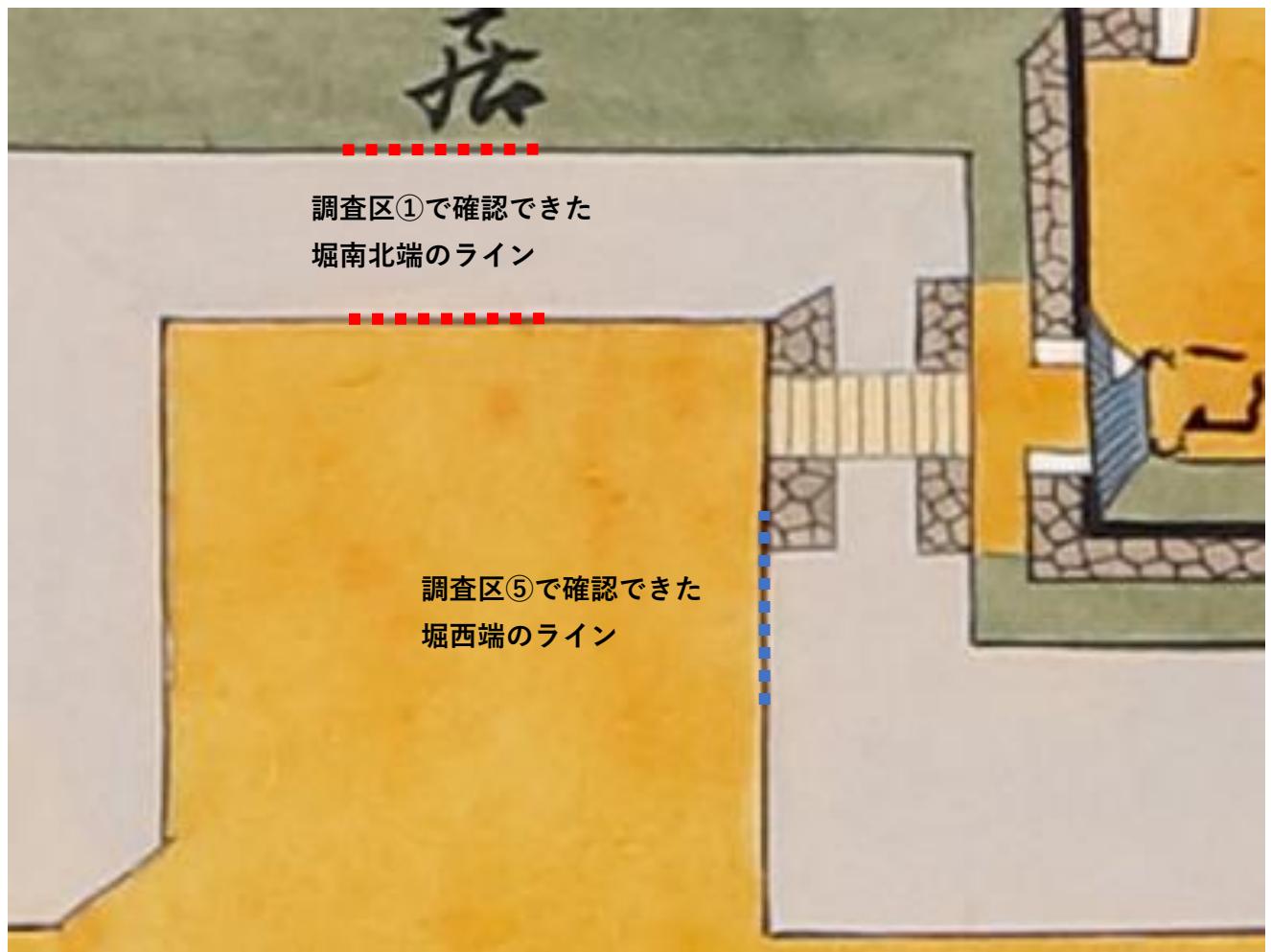
A 堀北側法面（南から）



B 堀南側法面（北から）

調査区①まとめ

- ・ 犬山城の城内と城外を区画する外堀の一部が、地下に良好な状態で残されていることがわかりました。
- ・ 堀の幅は約17.5m、深さは6.5m以上であることがわかりました。
- ・ 堀の幅や深さ、空堀であることなどは、17世紀の絵図の記載内容とほぼ一致します。
- ・ 今回調査を行った箇所では、堀の斜面に石垣を築いた様子は見られませんでした。
- ・ 堀は4時期にわたって埋め戻されており、一部は戦後まで残されていたと推測されます。



犬山城修復願雛形絵図 安永9年（1780）犬山城白帝文庫蔵